

議会改革推進会議「検討部会」会議録

令和5年9月15日

亀山市議会

議会改革推進会議「検討部会」会議録

- 1 開催日時 令和5年9月15日(金) 午前9時58分～午前10時41分
- 2 開催場所 第1・2・3委員会室
- 3 出席会員
部 会 長 福 沢 美由紀
副 部 会 長 新 秀 隆
部 会 員 森 英 之 伊 藤 彦太郎 小 坂 直 親
今 岡 翔 平
会 長 森 美和子
副 会 長 服 部 孝 規
- 4 欠席会員 櫻 木 善 仁
- 5 事務局 議会事務局長 渡 邊 靖 文 議事調査課長 大 泉 明 彦
書 記 新 山 さおり 書 記 西 口 幸 伸
- 6 案 件
1. 第82回検討部会の確認事項について
2. 議会改革白書2023への掲載内容の確認について
3. 議題
(1) 議会の情報化について(検討課題49)
・議会グループウェアの導入検討について
(2) 新たな議決項目の必要性について(検討課題27)
4. その他
- 7 経 過 次のとおり

午前9時58分 開 会

○部会長（福沢美由紀君） 皆さん、おはようございます。

議会改革推進会議第83回、開催いたします。

82回の検討部会では、議員間の情報共有や議会としてのスケジュール管理に活用できるアプリLINE WORKSの説明を受けていただきました。これは82回の確認ということでも言わせていただきました。

次に、議会改革白書2023へ掲載内容の確認なんですけれども、資料1をご覧になっていただいて、各種委員会・会議の決定事項についてということで、西口主任主査に説明いただきます。

どうぞ、お願いします。

○議会事務局員（西口幸伸君） 資料1でございます。

議会改革検討部会のほうでご議論をいただきまして、議会改革推進会議のほうで決定をしていただきました議員の通称等の使用に関する規程の制定ということでございまして、その規程を制定したという内容につきまして、資料1のとおりでございますが、白書のほうに掲載をさせていただくということで確認をお願いしたいということでございます。以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） 規程を制定しましたので、これを追加するというところでよろしいですね。
(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） 次の議題に移ります。

先ほど報告させてもらいました議会の情報化についてでございます。検討課題49になります。

議会グループウェアの導入検討について、前回、議会グループウェアの導入検討ということで、アプリLINE WORKSの説明を受けていただきました。主に議会としてのスケジュール管理に活用するために導入したいと考えているわけですが、無償の場合と有償の場合の違いなど、部会の皆さんからご意見、ご質問いただきましたので、事務局より説明をお願いいたします。

西口主任主査、お願いします。

○議会事務局員（西口幸伸君） それでは、前回ご覧いただきましたデモでございます、LINE WORKSのほうでございます。ご意見をいただいたフリープラン、無償のものと有償のものとの比較ということでございます。資料2で、比較表になっておりますけれども、特徴的なところだけかいつまんでお話をさせていただきます。

まず1つが、共有ストレージというところでございます。こちらは、いわゆるデータを保存できる上限ということでございますが、有償プラン、フリープランを見ていただきますと、フリープランのほうは5ギガバイトということでございまして、利用状況にもよりますけれども、そこに書いてありますような3か月から4か月程度でいっぱいになってしまいますというような制限があるというところでございます。

それから、今回この議会グループウェアを導入する目的の主なところでございますスケジュールの部分でございますカレンダーという項目になってきますけれども、そこでフリープランと有償プラン比較のところを書いてありますようなとおり、有償プランのほうをちょっと丸で囲ってございますけど、見ていただくと、メンバーの予定表の詳細を公開、予定の時間枠のみ公開か選択可能というふうに書いてあるんですが、有償プランはこのいわゆる時間枠のみの公開というのが選択できる。つまり、皆さんのご予定というのを議会全体で共有する際に時間枠だけという表記、つまりプライベートなご

予定とかもありますので、それを公開せずにいわゆるこの時間は何か予定がありますよというような表示ができる選択が可能なんですけど、フリープランのほうですと、全てが公開になってしまって、そういう予定も共有されてしまいますよというような違いがあるというところですよ。

それから、もう一つは、広告の表示というのがあるんですけど、フリープランですといわゆる他社の広告なんかが表示されるものがありますということで、大きくこの3つがフリープラン、有償プランでちょっと気になる違いになってまいります。

今回、比較で見させていただきましたが、やはりカレンダーの部分、予定を共有していくという部分において、皆さんがプライベートな予定まで公開されてしまうのは少し問題がありますので、もしLINE WORKSということでございましたら、有償プランでないでちょっと運用的には問題があるのかなというふうに認識をしております。

前回のデモを受けていただいて、皆さんちょっとどういった感じを受けられたかというか、ご印象を持たれたかということもあろうかと思っておりますので、またこの後ご意見等、そこら辺についてもご意見いただきたいなという思いがございます。

それから、あと今回、お一つだけデモを見ていただいたというところがございますので、ほかにもスケジュール管理に使えるソフトというのはございます。例えば、他市議会、鈴鹿市議会さんやいなべ市議会さんのほうで導入をされておりますグループウェアということで、サイボウズ Office というものもありますので、そちらについてもデモを見ていただいたりして、比較検討していただいた上でどういったものにするかということで決めていただくのがいいのかなということでご提案したいなと思っておりますので、その点も含めまして意見をいただきたいなと思っております。以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） ご説明いただきましたが、皆さん、この間の質問、意見については、有償と無償についていただいたということと、あとこれだけで決めてしまうのか、それとも他市や市内のいろんな動きもありますんで、ほかのものも見て決めるのかということも含めてご意見いただきたいと思っております。

伊藤委員。

○部会員（伊藤彦太郎君） ちょっと説明聞きまして、僕ますます有償である必要ないなと思ったんですわ。

そもそもスケジュール管理だけやったら、別にフリープランで十分やと僕は思うし、個人の予定がどうたら言われましたけれども、個人の予定もここで管理するんかどうかといったらどうなんかなと、逆に。これはあくまでも議会の予定を入れておくべきであって、個人の予定は、さらに議員って公私の区別をはっきりさせることを求められるものなのに、別にこんなところで私ごとのスケジュールなんて入れる必要がないんちゃうかな。

ファイルのシェア、共有ストレージが5ギガしかないとかいうことやけど、そもそもSideBooksがあるんやから、こんなもん関係ないと思っております。

だから、私はもう結論からいうと、フリープランでまず始めて、それでも何か有償プランが要するという話になってきたら、そのときに導入したらええと思っておりますね。

やることはええと思っております。グループウェア自体が、私は基本的に議会にあまりそぐわないと思っております、そもそもが。

○部会長（福沢美由紀君） 伊藤委員のご意見は、まずLINE WORKSのフリーから始めたらどうかということでもいいんですか。

伊藤委員。

○部会員（伊藤彦太郎君） はい。

○部会長（福沢美由紀君） 皆さん、いかがですか。

今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） フリーを使い続けるというので、業者のメリットって何があるんですかね。

○部会長（福沢美由紀君） 西口主任主査。

○議会事務局員（西口幸伸君） フリープランのほうにもちょっと表記がありますとおり、広告収入というものが入ってくるということになるかと思えます。

当然、使っていただくことによって企業のほうの存在というか、それを知っていただくというようなこともあろうかと思えますけれども、収入的には広告収入があるというところがございます。

○部会長（福沢美由紀君） カレンダー機能の使い方として、今、自分の私的な用事があるとかそういうことも含めて紙で出しているのを、こういうものを使って共有することで、いろんなスケジュールを立てやすくするということが目的だったのかなと私は思っているんですけれども、そこは皆さん、同じように思っているということでもいいですか。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） いいですね、そういうことですね。スケジュール管理をするということ。

森委員。

○部会員（森 英之君） スケジュール管理を事務局も議員もしやすいために、会議設定をスムーズにするためにということが目的かと思うので、私は伊藤委員おっしゃることもそうだと思うんですけれども、今回、目的はスムーズな議会運営をするためのものですので、個人のどういったものか分からんようにするというのが有償プランでありますので、それを活用してより効率よくするために活用するというほうが私はいいと思えます。

○部会長（福沢美由紀君） 新副部会長。

○副部会長（新 秀隆君） 音声通話・ビデオ通話のところ、フリープランは、複数人数の場合は4名で、1回当たりの最長60分までということですけど、これは有事の事態とか、家でコロナとか、例えばかかったときにその2人、そういうふうな通話は4人までしかできやんということなんですか、これは、その言葉どおりに。

○部会長（福沢美由紀君） 西口主任主査。

○議会事務局員（西口幸伸君） その表記のとおりでございまして、最大通話4人ということで4名までというふうになっております。

音声通話・ビデオ通話ですけれども、あくまで今回私どもの考えておりますスケジュール管理の部分とはまたちょっと別の部分になりますので、オプション的なものかというふうには考えております。

○部会長（福沢美由紀君） 新副部会長。

○副部会長（新 秀隆君） これは、Zoomとかああいうような使い方ではないというふうに理解しておっただいいんですかね。

○部会長（福沢美由紀君） 西口主任主査。

○議会事務局員（西口幸伸君） Z o o mのような使い方もできるというふうに、いわゆる映像を見ながら当然通話ができますので、そういう使い方ができるというふうには聞いております。

○部会長（福沢美由紀君） 今、フリープランと有償プランについて議論いただいておりますが、先ほどちょっと説明が最後のほうにあった他市さんも採用しているほかのグループウェアを検討するかどうか。

庁内のことも含めて、他市さん、どこでしたか。もう一回ちょっとお願いします。

西口主任主査。

○議会事務局員（西口幸伸君） 今、県内で、ご紹介しましたグループウェアのサイボウズ O f f i c e というものを導入しておる市議会ということで、鈴鹿市議会さんといなべ市議会さんというのはそれを導入しているというふうに聞いております。

○部会長（福沢美由紀君） 庁内ももうされているんですか。まだ。

西口主任主査。

○議会事務局員（西口幸伸君） これは、ちょっと予定というところではございますけれども、サイボウズ社製のグループウェアに庁内のものを更新する予定があるというふうなことは聞いております。

○部会長（福沢美由紀君） 漏れ聞いておるとい程度ですね。これ亀山市、庁内のことですね。

どうぞ、新副部会長。

○副部会長（新 秀隆君） さっきのサイボウズの件は、庁内というのは、亀山市としての庁内の方向性ってある程度見えているところはあるんですか。ほかのプランも含めて。

○部会長（福沢美由紀君） 西口主任主査。

○議会事務局員（西口幸伸君） 庁内の方向性ということでございますけれども、今回、更新のタイミングというものは来ておりましたので、その関係でちょっと合わせてグループウェアのほうも更新をしていくということになっておりました。

なので、どういう会社にするかというのもいろいろあるんですけども、たまたまというか、ちょっと確認したところによると、サイボウズ社製のものになる予定であるというふうに聞いているというところがございます。

○部会長（福沢美由紀君） 新副部会長。

○副部会長（新 秀隆君） それは、合わす必要性というものはあるのではないかと思うんですけど、それは議会だけ独自の形というのでも問題はないということですか。

○部会長（福沢美由紀君） 西口主任主査。

○議会事務局員（西口幸伸君） ネットワークが全く別でございますので、いわゆる庁内の環境とは違いますので、構築したとしても。ですので、いわゆる議会のグループウェアと何か連携するようなことはないです。

ただ、考えられるのは、他市議会さんとの連携とかいうところは少し考えられるところかと思えます。

○部会長（福沢美由紀君） 今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） これって、そもそも導入するというのは、ここで決まる。

○部会長（福沢美由紀君） 決定はしませんけれども、ここで議論をしっかりしておく。

今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） それで、検討部会はこうするよというたたき案を全員に出すということですよ。

○部会長（福沢美由紀君） いかがですかと。

今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） はい、ですよ。

私は、ほかの市町の比較検討は別に必要なくて、フリーでも有償でも、取りあえずもう調べてきてもうたんで使ってみるというのでいいと思っています。

○部会長（福沢美由紀君） どうですかね、皆さん。

今ちょっと有償がいいんじゃないか、あと無償でもう始めたらいいんじゃないかと2つに分かれておるわけなんですけれども、どうですか。

小坂委員。

○部会員（小坂直親君） 経費はできるだけ削減して、事務局が一番やりやすい、業務にあんまり複雑にならんと、事務局が一番やりやすい方法が一番ええと思う。

それぞれ意見は言うけど、結果的には事務局に負担ができるだけかからんように。事務局が一番使いやすい方法がいいと思う。

○部会長（福沢美由紀君） 伊藤委員。

○部会員（伊藤彦太郎君） 僕も小坂委員の言われることと全く同じなんですけど、はっきり言って、正・副部会長と、あと事務局で決めてもらったらええと思います。

でも、これで有償でも無償でもやってみるという方向はもう皆さん、多分間違いなくええと思ってみえると思うんでええと思います。

○部会長（福沢美由紀君） 今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） だから部会長なり事務局は、もう有償プランで取りあえず始めてみるという案でいきたいというのでよかったですか、認識は。

○部会長（福沢美由紀君） 今日、皆さんにまず有償と無償について理解をいただいた上で、この2つで選んでいくのか、それとも他市も使っておるとい事例もあるもので、1つだけで決めるよりもほかも聞きたいなという皆さんのご意見なのかどうかを確認したかった。

今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） 私の意見なんですけど、私はとにかく自分で使ってみるとというのが、タブレットにしても結局それやったもので、使ってみてもらおうというのが一番早かったもので、それであれば、有償プランでもう取りあえずやってみるというのでいいのかなと思います。

○部会長（福沢美由紀君） 有償でやろうという意見もありますし、無償からという意見があって分かれておるとい状況なんです。それで、小坂委員はどちらでもええけれども、ちゃんと使いやすく事務局が管理しやすいもの、最終的に経費もちゃんと見ていただくということ言うていただいたと思うんですけど。

これは採決を採るようなことでもありませんし、もう事務局と部会長、副部会長で相談しましょうか。

新副部会長。

○副部長（新 秀隆君） 先ほどから、フリーも有償プランも大小はあれど機能的にはあれやで、まずはフリーから始めて、それでいかな、これでは駄目やなと事務局も思うんなら有償プランという形で、まずはフリーから始めるというのがいかなもんかなと思うんですけど。

○部長（福沢美由紀君） 新山グループリーダー。

○議事事務局員（新山さおり君） すみません。それでは、フリープランであれば今すぐにでもできますので、フリープランもしていただき、さらには有償プランはトライアルが2か月できますのでこちらもしていただき、比較していただいた上で決定していただくというのはいかがでしょうか。

○部長（福沢美由紀君） 今、事務局から提案いただきました。

まずはフリープランを経験していただく。2か月というのは、フリープランを一旦やめて有償プランに切り替えて経験、2か月していただく、あるどこかでということですか。

新山グループリーダー。

○議事事務局員（新山さおり君） 有償プランのトライアルは2か月というのが決まっておりますので、フリープランから始めたいということをお客のほうに一度確認しまして、一番有効な形でできるようにちょっと調整させていただきたいと思うんですけども、同時にできれば同時でもいいんですけど、皆さん、二重で管理していくのが大変になりますので、まずフリーをしてから、その内容をこちらにある程度移行できたらいいんですけども、移行してからまた有償プランを2か月トライアルという形がいいのか、ちょっと検討させていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

○部長（福沢美由紀君） そうですね、トライアルというのは、別にフリーで使えるという意味ではないんですね。

新山グループリーダー。

○議事事務局員（新山さおり君） トライアルは有償プランが無料で試せるよという期間が2か月あります。

○部長（福沢美由紀君） お試し期間だから、有償だけでも無料で使えるよということなんですね。それが2か月あると。それをどっちからするかという話で、それも含めて、じゃあもうどっちも無料なんで、事務局と部長、副部長でちょっと相談させていただくということで、ほかのグループウェアも検討するかどうかということについては、そういうご意見ございませんでしたので、そういうことでもう進めさせていただこうかと思っております。またご報告させていただきます。

それでよろしいですか。

（「はい」の声あり）

○部長（福沢美由紀君） 次ですけども、新たな議決項目の必要性について、検討課題27です。

新たな議決項目の必要性についてでございますが、新たに議決事件に追加する計画について、前回の検討部会では、立地適正化計画を新たに議決事件に追加してはどうかとの意見をいただいております。また、現在、各種計画については、各常任委員会で説明を受けるなどしっかりと関与はいただいておりますが、追加すべき計画がないか各会派でご協議いただいていると思っております。

意見を集約したいと思っておりますので、もしご意見がありましたら、会派から聞いたよということでもええし、今委員さんが思っているということでもいいですので、言っていただけますでしょうか。

（発言する者なし）

○部長（福沢美由紀君） 立地適正化計画というのが上がっていますので、これはまず追加すると

いうことを決めていっていいかどうかということなんですけれども、取りあえず、でも皆さん、特にこうのご意見がないようでしたら、他市議会の基本条例における議決事件の追加などの状況を調べてもらいましたので、資料をご用意させていただきましたので、それについて事務局から説明をいただきます。

新山グループリーダー。

○議会事務局員（新山さおり君） では、資料の説明の前にご報告をさせていただきます。

無会派の方に、この追加すべき計画は何かないですかということでお聞きしましたところ、特にはないですということでお伺いしております。それと今日、新和会さんのご意見につきましても、同じく追加するものはないということでしたので、ご報告だけさせていただきます。

それでは、資料3のほうをご覧ください。

こちらにつきましては、県内市議会におけます議会基本条例、法の96条第2項の議決事件の状況ということでお調べしております。

当市議会につきましては、基本構想及び基本計画、あと都市マスタープランについてを議決案件としておる中、他市議会について、特徴的な部分だけ説明させていただきます。

県内の他市議会、皆さん、基本構想、基本計画については全ての議会さんがほぼ議決案件にはしております。その中で、それ以外の計画を具体的に上げている市議会につきましては、四日市市のほうと、あと伊賀市、鳥羽市、それから尾鷲市が具体的な計画を上げております。

四日市につきましては、こちらに記載のとおり、地域防災計画ですとか水防計画、老人福祉計画、あと介護保険事業計画で、あとは都市計画に関する基本的な方針のうちの全体構想の策定ということで、恐らく都市マスタープランになるかと思うんですけれども、こちらのほうを上げてございます。

あと伊賀市につきましても、期間が5年以上のもので、市行政の基本的な施策に係る計画ということで、今まで議決事件に上がった事例としましては、環境基本計画、あと文化振興ビジョン、水道事業ビジョンなどを議決しておるということでした。

あと鳥羽市につきましては、令和4年にこの条例を改正しておるんですけれども、重要な計画等というこの記載の2号の部分が改正されておまして、以前はこの事例に書いております行革大綱、総合保健福祉計画、観光基本計画、都市マスタープランというのが具体的に明記がされておりました。こちらを、今も現在、議決案件としておるんですけれども、それに加えてさらに重要な計画、関与すべき計画があった場合に関与できるように、議長が必要と認めるものとして関与できるように条例改正をしたと聞いております。

あと尾鷲市につきましても、こちらに記載のとおり、都市マスタープラン、子ども・子育て支援事業計画、母子保健計画、高齢者保健福祉計画、障がい福祉計画・障がい児福祉計画ということで具体的に計画名を上げていただいております。

伊賀市と鳥羽市につきましては、お伺いしたところ、執行部との意見交換の場を持ったり、あとは執行部と調整し、この議決すべき計画は決定していると聞いております。

あと松阪市議会、伊賀市議会、伊勢市議会、いなべ市議会と定住自立圏構想推進要綱に定める定住自立圏形成協定を締結した場合も議決案件ということになっておりますが、こちらは法のほうで定められておまして、条例のほうでは補完する形で規定しているということをお伺いしております。

大きな差といいますとそのような形になるかと思えます。以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） 説明は終わりました。

他市の状況をお聞きになりまして、皆さんからご意見がありましたら発言をお願いいたします。

今後亀山市議会がどうしていくかということですね。

皆さん、今お聞きになって、改めて各党派で意見集約していただいて、次にまた検討するというのか、今のところご意見がない状況、この資料をいただくまではご意見のない状況の中で、立地適正化計画というのが上がっていますのでそれをまずしようかということにするのか、ご意見をいただきたいと思うんですがいかがですか。

今日、新和会さんもおらんし、持ち帰ってもらってもいいですか、どうですかね。もう進めたいですか、どうですか。

伊藤委員。

○部会員（伊藤彦太郎君） 先ほど資料で、鳥羽市さんかな、何か具体的にこの計画というんじゃないなくて、市政の各分野における何か政策及び施策の基本的な方向を定める計画とか指針というのが出ておるんですけども、どれがどのこれに該当するかってどうやって決めるんかと、何か聞いていますか。

○部会長（福沢美由紀君） 新山グループリーダー。

○議会事務局員（新山さおり君） ちょっとお電話でお伺いしたんですけども、必要に応じて、その都度協議して決めていくということで、今のところ重要な計画としておるのが、こちらに記載しております事例の計画というのは何っております。ただその都度ということで、その後、新たに何かを議決したかということ、今のところはないと聞いております。

○部会長（福沢美由紀君） 伊藤委員。

○部会員（伊藤彦太郎君） 多分、何か追加するとしたら、こういうように重要な計画とかという話が出てくるんやなと思うんですけど、例えば庁舎計画なんていうのは非常に大きいんですけども、1回やってしまったらそれで終わりなので、だから今後、引き続きこういうふうなのが出てくるというようなのを思ったら、計画全てというふうにしてしまうという手もあるかなと思うんですけど、でもそこまでする必要はないというふうな意見もほらあるやろうし、その辺はちょっと、鳥羽市さんみたいに、こういうふうに必要なものというふうにできるんやけど、じゃあ重要なというのはどうやって判断するのというのが分からんというのが今の時点での印象なんで、そうするともう具体的にこれというふうにしていかざるを得ないのかなというのが印象ですけどね。

今のところ、これをせなあかんというのは僕の中ではないんですけど。

○部会長（福沢美由紀君） ほかにはどうですか。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） また、そうしたら今日新しい資料もいただいたことですし、新和会さんが欠席で、これ見ていただいてというところもないので、ちょっとそれを持ち帰っていただく方向でもよいでしょうか。

森委員。

○部会員（森 英之君） ちょっと整理をしていただきたいんです。

立地適正化計画というのは上がってきているので、まずそこを議決案件とするかというのを各党派へ持ち帰るといことと、ほかにそういうものが必要じゃないかということを含めて一度、もう一回

会派で話し合っただけということではよろしいんですかね。

○部会長（福沢美由紀君） 議決案件に立地適正化計画を新たに追加しようというのは前回までにならないうたでいるので、それをまたもう一遍持ち帰ってということはちょっと私考えていなかったんですけれども、どうですか。やっぱりもう一遍持ち帰って検討なさりたい感じですか。

会長、お願いします。

○会長（森 美和子君） これ立地適正化計画を議決案件に次はやるというのは、いつみんなにあれしたんですか。

○部会長（福沢美由紀君） 新山グループリーダー。

○議会事務局員（新山さおり君） 立地適正化計画については、この体制になられる前の条例の検証のときに意見が出てまいりましたので、11月以降、新たな体制になった際にそういったご意見もあったので、今回検討課題に上げて、ほかに何か議決すべき計画、追加していくかというご議論が始まったんですけれども、前回の検討部会の中でもその立地適正化計画を上げてはどうかというご意見は出ておまして、じゃあほかにも何かあるのであれば併せて市長のほうに、執行部との調整が必要になりますので、させていただきたいということで会派に持ち帰っていただいた経緯がございます。

ですので、もう最終調整に入る前に、どの計画にするかをある程度決定していただいて、調整に入りたいということで、今日意見をもち寄っていただいたんですが、決定はしていませんね。

○部会員（小坂直親君） 定住化というのはどこから出てきたの。議決せないかんというのは。

○部会長（福沢美由紀君） ないの、ないの。ここで決めればいいの。亀山市議会で議決案件にするかどうかということ。都市マスもそれはなかったの。

小坂委員。

○部会員（小坂直親君） たたき台もないし目的もないし予算もないし、そんなものは何を議決するんや。

○部会長（福沢美由紀君） 新山グループリーダー。

○議会事務局員（新山さおり君） すみません、29年にも同じように都市マスタープランを議決案件にした際に、ご協議を検討部会のほうでしていただいておるんですが、そちらを検討するに当たっては、議決すべき計画に関する意向調査というのを全議員の方にさせていただいておまして、何票入ったというか、どの計画がすべきだということで調査をさせていただいております。

今回そういったアンケートなどは行っておりませんと、会派のほうに持ち帰っていただいてご意見を聞いていただいておる形になっておまして、もし必要であれば、そのようなこともさせていただくことは可能ですし、ちょっとその辺も含めてご協議いただければと思います。以上です。

○部会長（福沢美由紀君） どうやって決めていくかというのを改めて。

小坂委員。

○部会員（小坂直親君） 議決の何か、定住化構想の計画のたたき台ってあるの。

○部会長（福沢美由紀君） まだ何にも新しいもの出ていない。

小坂委員。

○部会員（小坂直親君） 定住化構想計画を入れるというんやけど、入れなあかんもんか文書にせな分からへん。

○部会長（福沢美由紀君） 皆さんには令和5年度の各種計画一覧表というのがもう既に渡っている

と思うんですけども、議決として取り扱うかどうかということについて、一遍この計画一覧をきちっと見ていただいて、丁寧に一人一人にアンケートも取っていない、この新しいメンバーの中では、18人では取っていませんので、そういうことも含めて、やるかどうかということも含めてご意見いただけますか。

新副部会長。

○副部会長（新 秀隆君） 前回のメンバーとの引継ぎという形にもなっておりますので、もう一度意識を明確にするためにも、一旦ちょっと持ち帰りはいかがでしょうか。

○部会長（福沢美由紀君） 今、新副部会長から、一旦、今日の新たな資料も含めて、あと全部の計画一覧ももう一遍見ていただくということも含めて持ち帰っていただく。

審議の仕方としては、会派でやっていただくということでもいいのか、前回やったように、一人一人にどれがいいですかみたいなアンケート方式がいいのかということについてはいかがですか。

伊藤委員。

○部会員（伊藤彦太郎君） 多分、一人一人アンケートというほどではないと思いますが、会派で持ち帰ってもらって、それでそこにきちつと言うてもうたらええと思いますけどね。当然無会派の方も含めてですけど。

○部会長（福沢美由紀君） 小坂委員。

○部会員（小坂直親君） あんまり議決する項目をつくる必要はないと思っている。

今の総合計画でも今給食の件でも、これはもともと旧関町の場合は、基本構想は議決したの。基本計画は議決しておらへんのか。今回議決しているもんでいろいろ問題が起こっておるわけやけれども、基本的には計画までですとこういう問題が起こってくる、かえって逆に。執行部との関係もある。議決を要するように、あんまり私はする必要はないというような考え方。執行部を拘束するような議決は私はあまり好まん。

○部会長（福沢美由紀君） 小坂委員のそう議決案件を増やす必要はないんじゃないかというご意見も頂戴したところでございますが、一旦もう改めて、各会派で本日の資料も見ていただいて、各種計画一覧表も見直していただいて、各会派で意見集約していただいて、次回の検討部会で決定していきたいと思うんですが、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） それでは、そのようにいたしますのでよろしく願いいたします。

次に、その他の項でございます。

次回の開催日でございますが、1年間の報告等がありますので、10月上旬に開催したいと考えております。改めて日程調整させていただきます。

本日の案件は以上でございますが、ほかに何かございませんか。

（「なし」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） なければ、以上で議会改革検討部会を閉会いたします。ありがとうございました。

午前10時41分 閉会

この会議録は正当であることを認め、ここに署名する。

令和 5 年 9 月 15 日

議会改革推進会議検討部会長 福 沢 美由紀